

良友

県議会議員田中良二後援会だより

第 4 号

〒895-0027

薩摩川内市西向田町 6-32 サンビル 5F

TEL 0996-22-1011

FAX 0996-22-1088

良二君と良き友に

後援会だより

～ 各地区の後援会づくりを進めています

現在、各地区（各町）ごとに、県政報告会開催と併せて、草の根の後援会（別称：良友会、毎月会費なし）づくりを、進めています。



東郷町において



樋脇町において

県議会だより

（9月議会）～ 政務調査費の透明化進む

田中県議が個人演説会等で透明化を訴えていました政務調査費について、全会派協議により政務活動報告書の開示や領収書の添付など、改善が図られました。

なお、新たな取り扱いは本年 10 月から試行し、来年 4 月から実施されます。

また、本年から県議の海外研修視察は中止となり、来年 4 月から国内出張の定額旅費分は減額、毎月の報酬（給料）は 10%減額が継続されます。

委員会だより

総務警察委員会から ～ 田中県議は、こんな質問をしています

○ 市町村への権限委譲について

現在、県から市町村へ多くの仕事に移されていきますが、県は、それに伴って市町村に委託金（事務補助金）を出しています。

当局の答弁では総額で 7,700 万円と多額の支出であることから、権限委譲と同時に、さらに県の人件費削減を行わないと、7,700 万円の支出が単に県の負担増になることを指摘しました。

○ 県防災対策基本条例(案)について

自主防災組織の育成を大きな目的とするものですが、県当局の新たな役割を示すべきことを強く要請し、また条例案には「原子力防災を含むのか」の質問をしました。

今回の議論を踏まえて、12 月県議会に提案予定です。

○ 県の建物の耐震性について

地域振興局（これまでの県合庁）の本庁舎の耐震性については、「北薩地域振興局（川内合庁）など 3 件の本庁舎に耐震性がない」との答弁でした。

市民の安全安心は言うまでもなく、薩摩川内市と北薩の将来発展を見すえて、北薩地域振興局の新たな建物建設の議論を進めていきます。

※ 田中県議の 6 月議会の質問状況は、県議会ホームページに掲載されています。

政策提言委員会から ～ 田中県議は、こんな提言をしています

『離島の出産に助成を』

甌島など産婦人科病院のない離島の妊婦の出産に要する経費の助成策が、提言されました。離島医療の充実として、検診や出産の際の旅費や宿泊費の一部助成を行うもので、来年度予算編成において対応が検討されます。



話 題



社会体育功労者表彰を受ける

10月7日市民運動会において、市空手協会への貢献等により市長表彰を受けました。

「川内高校空手部に入部以来 35 年間のうちに、九大空手部、高校空手部コーチ、県民体育大会選手、市空手協会事務局長、理事長など多くの経験を積むことができました。

これからも地道にがんばっていきます。ありがとうございました。」(田中)



手づくりトウフ

地区コミュニティ手づくりの豆腐を、倉野(樋脇町)と大馬越(入来町)で食する機会がありました。大豆の甘みとうまみ、素朴な味わいがあり幸せな気分になりました。

農業の大地の恵みを大切に育てていきます。



県議会一口メモ

五つの常任委員会

県議会には五つの常任委員会があり、各県議は一つの常任委員会に所属しています。

1. 総務警察 (田中県議が所属)
2. 企画建設
3. 農林水産
4. 環境生活厚生
5. 文教商工観光労働

委員会所属は1年交代制になっており、4年間の任期中に四つの常任委員会を経験できますが、県議の専門性を高めるために、現在、2年以上の所属も可能にすべきとの議論がされています。



～笑い・ユーモア～

まぼろし的一周

○田中良二さんは「時間厳守」主義である。本年4月、初めての選挙戦で、広報用のテープを作ることになった。

1分間テープ用だったが、広報原稿を考えはじめると、「夢に向かって改革発展」は当然入れよう、それに5つの政策もアレもコレも入れようとするうちに夜が明けた。

○「良か原稿ができた。」良二さんは一人で吹き込みのリハーサル。

「～みんなで目指す宝の甌島」と最後のセリフを言い終わって時計を見ると丁度59秒。

「～よっしゃ、時間ピッタシ、さすが俺(おい)じゃ」と自画自賛。

○そして、いよいよ緊張の吹き込み本番。朗々と原稿どおり思いを訴えて録音を終わった。

すると、「良二、アンマイ長(なん)かが、2分かっちゃうよ。」と姉の声。

あまりに一生懸命の良二さん、なんとリハーサルのとき時計の針一周分(1分間)を見落としていたのだった。